

各 位

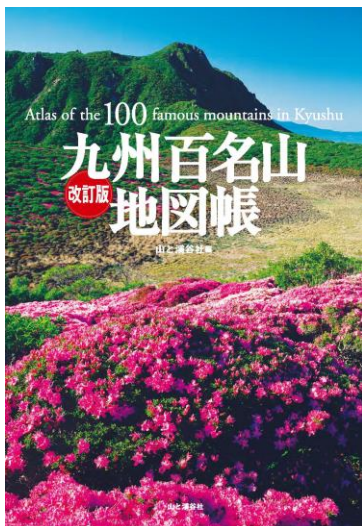
2024年3月19日

株式会社 山と溪谷社

<https://www.yamakei.co.jp/>

九州の名山が一堂に。  
『改訂版九州百名山地図帳』を刊行

インプレスグループで山岳・自然分野のメディア事業を手がける株式会社山と溪谷社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：二宮宏文）は、『改訂版九州百名山地図帳』を2024年3月19日に刊行いたしました。



『九州百名山』は、1993年にはじめて刊行されています。その後、ほぼ毎年のように増刷の機会があり、10年間で10版を重ね、多くの登山者から高い評価をいただいていた。そしてちょうど10年目の2002年に、当時の最新の状況・情報を加味して、『新版九州百名山』が発行されました。

それから再び10年近くが経過し、3回目の改訂版として2011年に『九州百名山地図帳』を刊行しました。版型を大きくし、「地図」を重要視して組み立てた、新しいスタイルの「登山案内書」です。本書に紹介した山岳は、沖縄を除く九州七県の山々のうちから、特に人気があり、一年を通して多くの登山者を迎えている山はもちろん、地元の人々が多く登る山や、心のふるさとといえるような山なども、地域のバランスを考慮しながら選んでいます。

今回の『改訂版九州百名山地図帳』は、4回目の改訂版として13年ぶりに内容を見直しました。山の入れ替えこそありませんが、弊社刊『分県登山ガイド』『アルペンガイド』の九州各県や主要山岳エリアの著者を核として、2011年版から4名の著者の入れ替えや、GPSによるコースの経路やコースタイムの見直しなどを行なっています。近年はゲリラ豪雨や台風、2016年の熊本・大分地震などによる登山道や林道の崩壊など、山を取り巻く環境・状況は刻一刻と変わります。常に新しい情報を手に入れて、安全で快適な登山を楽しんでください。

### 久住山

1070m 大分県

大分県 久住山・阿蘇山一帯



**牧ノ戸峠—久住山—中岳—牧ノ戸峠**  
 往復一日帰る 往復一歩の行程 距離約10km

久住山の山頂は、阿蘇山の山頂とほぼ同じ高さである。阿蘇山の山頂は、阿蘇山の山頂とほぼ同じ高さである。阿蘇山の山頂は、阿蘇山の山頂とほぼ同じ高さである。

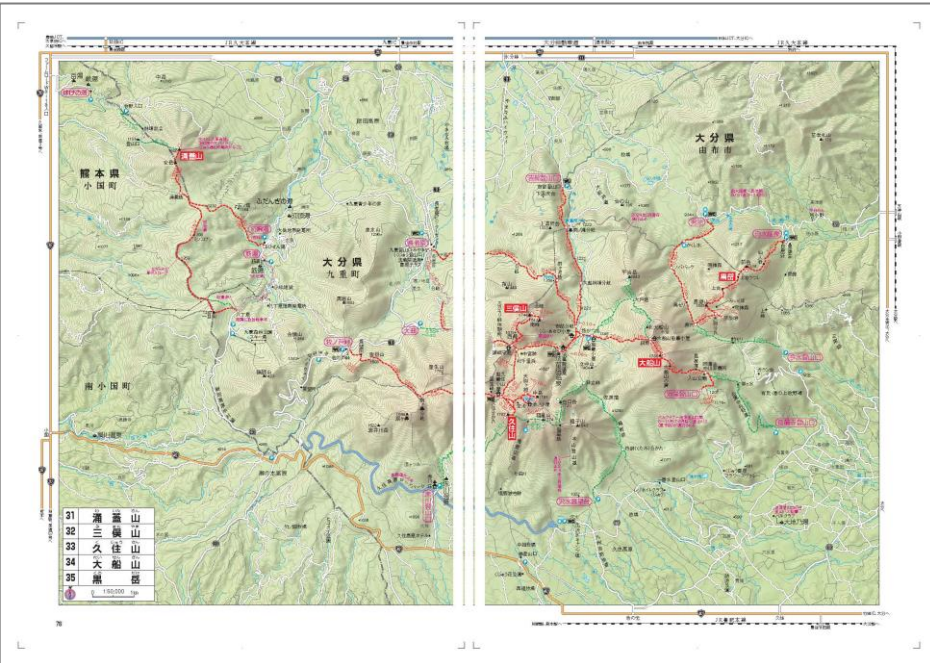
久住山の山頂は、阿蘇山の山頂とほぼ同じ高さである。阿蘇山の山頂は、阿蘇山の山頂とほぼ同じ高さである。阿蘇山の山頂は、阿蘇山の山頂とほぼ同じ高さである。



**長者原—久住山—法蔵院温泉—長者原**  
 往復一日帰る 往復一歩の行程 距離約10km

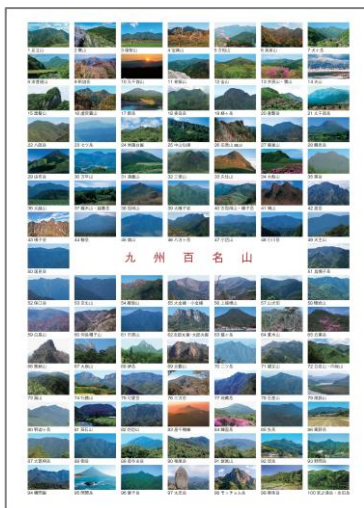
久住山の山頂は、阿蘇山の山頂とほぼ同じ高さである。阿蘇山の山頂は、阿蘇山の山頂とほぼ同じ高さである。阿蘇山の山頂は、阿蘇山の山頂とほぼ同じ高さである。

久住山の山頂は、阿蘇山の山頂とほぼ同じ高さである。阿蘇山の山頂は、阿蘇山の山頂とほぼ同じ高さである。阿蘇山の山頂は、阿蘇山の山頂とほぼ同じ高さである。



## 九州百名山

足立山、貫山、福智山、豊満山、古処山、英彦山、犬ヶ岳、求菩提山、釈迦岳、九千部山、背振山、金山、井原山・雷山、天山、黒髪山、虚空蔵山、郡岳、多良岳、経ヶ岳、雲仙岳、九千部岳、八郎岳、七ツ岳、洲藻白嶽、中山仙境、田原山、鹿嵐山、鶴見岳、由布岳、万年山、涌蓋山、三俣山、久住山、大船山、黒岳、元越山、緩木山・越敷岳、祖母山、大障子岩、古祖母山・障子岳、傾山、阿蘇山、根子岳、鞍岳、俵山、八方ヶ岳、筒ヶ岳、小川岳、天主山、国見岳、烏帽子岳、保口岳、京丈山、雁俣山、大金峰・小金峰、上福根山、山犬切、岩茸山、白鳥山、仰烏帽子山、市房山、次郎丸嶽・太郎丸嶽、龍ヶ岳、夏木山、五葉岳、鹿納山、大崩山、鉾岳、比叡山、二ツ岳・本峰、親父山、白岩山・向坂山、扇山、行勝山、可愛岳、三方岳、地藏岳、石堂山、尾鈴山、釈迦ヶ岳、双石山、花切山、高千穂峰、霧島山、矢岳、栗野岳、大笹柄岳、御岳、甫与志岳、稲尾岳、紫尾山、冠岳、野間岳、磯間嶽、開聞岳、愛子岳、太忠岳、モッチョム岳、黒味岳、宮之浦岳・永田岳



#### ◆書誌情報

書名:改訂版 九州百名山地図帳

著者:山と溪谷社編

発売日:2024年3月19日

定価:2970円(本体2700円+税10%)

判型:A4判並製

ページ数:216ページ

ISBN:978-4-635-53077-4

<https://www.yamakei.co.jp/products/2823530770.html>

【山と溪谷社】 <https://www.yamakei.co.jp/>

1930年創業。月刊誌『山と溪谷』を中心とした山岳・自然科学・アウトドア・ライフスタイル・健康関連の出版事業のほか、ネットメディア・サービスを展開しています。

さらに、登山やアウトドアをテーマに、企業や自治体と共に地域の活性化をめざすソリューション事業にも取り組んでいます。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。

さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社山と溪谷社 担当：神谷浩之

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング

TEL03-6744-1900 E-mail: [info@yamakei.co.jp](mailto:info@yamakei.co.jp)

<https://www.yamakei.co.jp/>